



ご質問 東京の小学校ですが、毎年夏に高学年は軽井沢で林間学校をひらきます。往復はバスを使い、片道2時間半の“旅”です。この“バスの旅”と“地図帳活用”を結びつけてみたいのですが……。

回答者 東京学芸大学 名誉教授 次山 信男

4年生の

「東京から日光へ、マップバスツアー」

夏の林間学校で、栃木県日光市へ行った東京の4年生が、地図帳『楽しく学ぶ小学生の地図帳 最新版』（以下、地図帳）の基本図、拡大図（p.35～38）の上で、“旅”を試みたことがあります。

子どもたちのバスの旅の実際は、往復とも歌合戦やゲーム、テレビなどに興じることが多く、よほどの目的を用意しなければ、車窓から外の景色をたんねんに見るということはまれなのですが……。地図帳を開いた子どもたちは指や鉛筆でルートをたどりながら“地図の旅”を描き始めます。一人でただ黙々と“旅”する子もいれば、隣の子と声をかけ合いながら“旅”する子もいます。

「学校を出発！ 東京都バイバイ、埼玉県こんにちは！」

「あっ、東北自動車道に入ったよ！」

「町になったり、田畑になったり……。ねえねえ、果樹園があるわよ。おいしそう！」

「あっ、羽生パーキングエリアだ！ ……群馬県に入るの？」

「まだまだ利根川をわたるまでは、埼玉県！」

「長い橋をわたったよ。また果樹園だ！」

「こんどは渡良瀬川をわたるぞ！ ……あれ、もう栃木県だ！」

「ここは県が入り組んでいるんだね！」

「ここからは、どんなものが見られるかな？ ……ドキドキ、ワクワク！」

「田んぼ、山、田んぼ、山……すぐ景色が変わって目がまわりそう！」

「左にいちご畑があるよ！」

「あれ、ここで東北自動車道をおりるんだ！」

「少し前に大谷摩崖仏おおやまがいぶつが見えたよ！」

「えっ、そんなの見えたの？ どうして教えてくれなかったの！」

「ごめん、ごめん、ごめんなさい！」

「あっ日光杉並木だ！ ……世界最長の杉並木で、ギネスブックに登録されてるんだって！」

「東照宮だ！ とてもきれいなお宮なんだよ！」

「急なのぼりだ！ ……あっ、中禅寺湖だ！ ……華厳滝もみえるよ！」

「あれは男体山（2486m）！ ……また登りだぞ！ ……そろそろ日光湯元だね！」

「ここは、きれいな自然がいっぱいのゴール日光国立公園だ！」

（文中のゴシックは、地名、記号、記事など地図帳にある情報）

一人旅なのか、二人旅なのか、遊び感覚の“地図の旅”の展開です。要所ごとの地図の情報をおさえながら、しかも、テンポがあって楽しさが伝わってきます。ここには、このルートを実際に通ったという体験の自信と、思いがけない地図との出会いによる心のはずみとが結びついているように思われます。

5、6年生の

「東京から軽井沢へ、マップバスツアー」

ところで、5、6年生の東京から軽井沢へのバスツアーでは、どのような“地図の旅”が顔をのぞかせるのでしょうか。

- ・東京、埼玉、群馬、長野の4県
- ・関越、上信越の高速自動車道路
- ・群馬サファリパークや下仁田のこんにゃくいも

・妙義荒船佐久高原国定公園や急な登り坂などは、先の4年生と共通した“旅の顔”ですが、日本の産業革命の象徴、富岡製糸場は、「日本の工業」や「日本の歴史」を学ぶ5、6年生の眼にどのように映るでしょう。おそらく、途中下車し、「なぜ、この地なのか？どのような役割を果たしたのか？」に迫るのではないのでしょうか。

先の4年生は、東照宮も「とてもきれいなお宮！」で通りすぎています。そして、渡良瀬川も、「県境の川」として通りすぎ、上流の足尾銅山跡や、それにかかわる鉱害問題と結びつける眼はまだ備わっていないのです。

“地図の旅”を追い、

広げつづける子どもたちを！

見てきたように、地図は、子どもたちの観察眼や想像力を引き出し、それを広げる教育的な機能を備えているのです。教室でも機会をとらえ、地図帳を開いて“地図の旅”を試みてみてはいかがでしょうか。

地図帳活用相談室〈2〉「地図帳で“旅”をして、教科書が扱う地域に入ってみよう！」（『こどもと地図』2008年9月号*掲載）では、大阪の5年生が単元「越後平野（新潟）の米づくり」に臨む事例を取りあげています。地図帳を活用して、教科書が扱うその単元地域へ乗り込んでいくのです。この「活用相談」は、どの教科書も扱う単元地域の地図を添え、地図帳を活用したくても、そのチャンスがなかなかつかめないという声にこたえたものです。参考までにご覧ください。

地図帳活用の楽しさを味わった子どもたちは、社会科はもちろんのこと、それをこえ、その旅を広げ続けるに相違ありません。いかがでしょうか。



「楽しく学ぶ小学生の地図帳 最新版」 p.35～36①関東地方

*過去の掲載記事は帝国書院ホームページでご覧いただけます。 http://www.teikokushoin.co.jp/journals/child_map/index_200809.html